

# ワールドワイド携帯電話四半期動向

2014年5月12日報告

## 2014年1Qの世界の携帯電話市場概況

### 加入者数推移

1-3月期の新規加入件数は前期に対して予想されたほど落ち込まなかった。地域ではインド GSM が牽引しアジアが前期の水準を上回り、方式別では中国 TD-SCDMA が大幅に新規加入を増やし下支え要因になった。1Qの結果を踏まえ、2014年の新規加入件数を前回報告時から上方修正した。

### 端末需要

1Qの端末販売台数は季節性からいずれも前期の水準を下回った。Smart PhoneではSamsung、Xiaomi、Motorolaが伸長し、地域では中国、インド市場を好調に推移した。

本報告書から有力中国メーカ6社を調査対象先に組み入れた。6社合計で全端末販売台数の16%を占め、また6社以外のその他中国国産メーカも10%以上のシェアが想定されるため1Qの中国メーカの市場占有率は30%前後を占有した。中国有力メーカLenovoにMotorolaの傘下入りし1-3月期のLenovoグループとしてはLGを抜きSamsung、Nokia、Appleに次ぐ4位の座を占めたことになる。

躍進する中国メーカに対してNokiaは販売台数で前期比22%の大幅減に見舞われた。Smart Phoneで依然活路を見いだせない事情もあるが、2QからMicrosoft傘下入りするため在庫整理などを実施した公算が高い。2Q以降NokiaはMicrosoft Mobileとして再生を目指し、長年親しんだNokiaブランドも近い将来変更する。

4-6月期は出荷台数、販売台数とも2%前後の伸びを見込んだ。2Qで前期比2桁台の伸長が予想されるのはLG、TCL、Xiaomi、HTC、TCL各社になる。LGとHTCはフラグシップの投入、Xiaomi、TCLはローエンドSmart Phoneが牽引する。一方上位のSamsung、Nokia、Appleは前期比横ばいとみられ、2Qにおける市場拡大の抑制要因になる。Samsungは主力のGalaxy S5の本格投入時期に当たり売上、収益とも改善に向かうものの、ローエンドSmart Phone、フィーチャーフォンとも前期の出荷台数を下回る公算が高い。中国メーカでは内需を背景に出荷を拡大、国産ではLTEで先行するCoolpadがシェアを伸ばすものと予想される。

下半期にはAppleがiPhone 5Sの後継機iPhone 6のリリースを計画している。4.7インチと5.5インチの2モデルの上梓が噂されており、4.7インチについては前年の9月から1カ月早めた8月発売も一部観測されている。iPhone 6の発売時と相前後してAmazonのSmart Phone進出が確実視されている。これまでのリーク情報では9月に初期ロット分を出荷し、11月にクリスマス商戦に向けて本格投入する、2014年はAT&T向けに独占供給、ジェスチャー機能のUI、3D画像ディスプレイ、独自のデータプラン料金体系などが推測されている。

## 2014年1Q(1-3月)調査結果 目次

1	2014年1Q (2014年1-3月) 結果の要約	3	7	端末販売動向推移	23
2	4-6月の出荷、販売見通し	4	7.1.	2014年1Q端末販売動向	23
3	地域別累積加入推移(四半期別)	6	7.2.	有力14社の携帯電話販売台数推移	26
3.1.	中国、インド、ブラジル、ロシア加入推移	9	7.3.	2014年1QのSmart Phone販売動向	27
4	方式別加入推移(四半期別)	11	8	2014年販売台数予測	29
5	年加入推移と2014年予測	14	9	主要メーカーの2014年1Q動向	31
5.1.	地域別	14	9.1.	Samsung	31
5.2.	方式別	15	9.2.	Nokia	34
6	主要オペレータ加入者推移	16	9.3.	Apple	37
6.1.	アジア	16	9.4.	LG	38
6.2.	西欧	17	9.5.	ソニーモバイル	41
6.3.	東欧	18	9.6.	Motorola Mobility	43
6.4.	北米	19	9.7.	Blackberry	44
6.5.	中南米	20	9.8.	HTC	46
6.6.	中東/アフリカ	21	10	端末各社の出荷計画	47
6.7.	主要オペレータ加入者数推移の世界全体に占める推定比率	22			